

1 産地基幹施設等支援タイプ

																							(高知県：令和5年度)								
市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	類別	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	類別	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
					計画時(令和2年度)	1年後(令和3年度)	2年後(令和4年度)	3年後(令和5年度)	目標値(令和5年度)	達成率					計画時(令和2年度)	1年後(令和3年度)	2年後(令和4年度)	3年後(令和5年度)	目標値(令和5年度)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
芸西村	合同会社公文	施設野菜(ピーマン)	I3	単位収量当たりの生産コストの19.8%の低減	1kg当たりの生産コスト293.69円/kg	1kg当たりの生産コスト304.03円/kg	1kg当たりの生産コスト505.25円/kg	1kg当たりの生産コスト339.74円/kg	1kg当たりの生産コスト235.46円/kg	-79.1%	1kg当たりの生産コストが15.7%増加した。	施設野菜(ピーマン)	I10	単位面積当たりの販売額20.8%の増加	10a当たりの販売額6,672,160円/10a	10a当たりの販売額4,329,943円/10a	10a当たりの販売額4,578,261円/10a	10a当たりの販売額8,463,933円/10a	10a当たりの販売額8,057,896円/10a	129.3%	10a当たりの販売額が26.9%増加した。	耕種作物産地基幹施設整備生産技術高度化施設 低コスト耐候性ハウス(1棟6,030m ²) ・自動カーテン一式 ・統合環境制御装置一式 ・循環式養液栽培装置一式 ・炭酸ガス装置4台 ・ヒートポンプ18台(室内機36台) ・その他附帯設備一式	214,500,000	97,500,000	0	0	117,000,000	令和4年9月1日	生産コスト低減については、ウクライナ侵攻の影響による輸入肥料価格の高騰、原油価格の高騰等により、経費の増加に歯止めがかからず目標に対し大幅に達成できなかった。 販売額の増加については、売上目標は達成しており事業効果は現れているが、厳寒期に黒枯病の被害を受けたことで、10a当たりの収量が伸び悩んでいる等の課題も見られた。 今後は、JA、振興センター、同地区のピーマン農業者の助言の下、養液循環システムによる灌水方法の見直しによる肥料代の削減や、ハウスの機密性向上による暖房費(重油代)の節減等により生産コストの低減に努めるとともに、病害虫の適期防除による減収要因の抑制に努めることで、成果目標の達成を目指す。	事業の活用により低コスト耐候性ハウスを整備したことで、台風等の自然災害の影響を受けにくい良好な栽培環境で長期作型が導入できている。 一方で、生産コスト低減については、農業経営にかかる経費の高騰等の理由により生産コストが増加したこと目標未達成となった。販売額増加については達成できているものの、病害により10a当たりの収量が伸び悩む等の課題が残されている。 今後は、関係機関が連携し、省力化技術や栽培管理方法に関する技術指導、病害に関する情報の提供や防除技術の指導等を行うことで、成果目標達成に向けた取組を支援していく。	

都道府県平均達成率	50.0%	総合所見	県平均達成率は50.0%と未達成となった。 未達成の主な要因は、農業経営にかかる各種経費の高騰であることから、今後は関係機関と連携し、生産コストを削減するための省力化技術や栽培管理技術の指導を行い、成果目標達成に向けて支援していく。
-----------	-------	------	---

(注) 1 別紙様式 1 号の I の (2) の I に準じて作成すること。
2 要綱別記 1 の I の第 2 の 2 の (2) のただし書きの場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。